

目次

序文

まえがき

第一章 太田の名門医家「本島家」の来歴…………… 1

一、高祖本島数馬から十三代続く医家

二、幕末から昭和までの近代における三代の本島家当主

第二章 分家本島家の長男として虎太が誕生…………… 12

一、父は本島家の次男「進」、母は大塚家の長女「ひさ」

二、本島虎太出生、干支から命名か

第三章 成績優秀の少・青年期、戦時下を生きる…………… 21

一、鎌倉尋常小学校から太田尋常小学校へ転校

二、旧制群馬県立太田中学校に入学し、勉学に励み友情を培う

三、太田中学での生活と本島虎太の回想

第四章 熊本の第五高等学校に進学、医師を目指して猛勉強……………55

一. 旧制第五高等学校の沿革概要と第十二代校長本島一郎校長先生

二. 旧制第五高等学校理科乙類に合格

三. 秀才揃いの旧制第五高等学校で猛勉強、学力を養う

第五章 医学部進学を諦めて帰郷……………69

一. 熊本医科大学・長崎医科大学に合格

二. 骨関節結核に罹り、苦洪の帰郷

三. 無念の入院生活、手術が成功して快復へ

第六章 本島総合病院の近代化に辣腕……………73

一. 医療法人本島病院の職員に採用され、事務を担当

二. 医療法人本島病院の常務理事・事務長に就任、病院改革に尽力

三. 株有隣社設立、取締役就任

第七章 本島虎太第四代太田商工会議所会頭に就任、最長不倒の十三期三十九年在任……………77

一. 「太田商工会議所」の創立と設立要綱

二. 創設以来三代の会頭・役員と主な活動状況

三、本島虎太、三十七歳の若さで第四代会頭に拔擢

第八章

本島会頭が残した大きな業績・イベント……………

137

一、「新商工会議所会館」の建設事業―本島三二〇〇万円寄付

二、『星霜 太田商工会議所四〇年史』、『風土記おた』の発刊

三、国際交流・国際親善で太田市と協力

四、太田都市ガス株の創設

五、本島の盟友石原信雄と平成の大合併

第九章

晩年は悠々自適、長男の医院開業を喜ぶ……………

177

一、太田商工会議所会頭を退任、萩原会頭へバトンタッチ―退任に当たり一〇〇万円寄付

二、職歴一覧と叙勲・各種表彰

三、長男太が念願の医院を開業

おわりに

主な参考文献

寄稿